

症例をそのままコピーペーストした場合は試験不合格の事由にあたります。

【様式4の2】

受験番号兼申請番号	医・歯・技
-----------	-------

(この上の欄には記入しないで下さい)

西暦 年 月 日

症例番号	
------	--

- 1) 医療機関;
- 2) カルテ番号;
- 3) 年齢;(初診時) 30歳
- 4) 性別;男性
- 5) 職業;警察官
- 6) 主訴・主症状;いびきが毎晩あり、無呼吸症状と日中傾眠がある。
- 7) 診断;睡眠時無呼吸症候群
- 8) 既往歴;特記事項なし
- 9) 家族歴;特記事項なし。
- 10) 現病歴;学生時代に柔道をやっていたが、就職後やめてしまい肥満していった。妻より睡眠中の無呼吸を指摘され、日中傾眠もあることから紹介医を受診し、PSG施行され口腔内装置作製のため2000年11月27日に当院を受診した。
- 11) 心身の一般的所見;
身長175cm 体重123.0kg BMI 37 体脂肪32% 血圧113/65
顔 貌:左右対称で顎はがっしりとしている。
その他:特記事項なし
Epworth Sleepiness Scale:10点
- 12) 主要な臨床検査所見;
口 腔:左側顎関節にクリックを認めるが開口制限はなく、歯列不正の異常は認められない。
鼻咽腔:鼻閉(・) 口蓋扁桃肥大(・) 軟口蓋過長(・)
- 13) ポリソムノグラフィー(PSG)所見;
PSG診断(年 月 日)表1、図2
*睡眠構築;総睡眠時間(TST):514.2分、睡眠潜時:3.5分
Arousal Index が48.2/hと高く、睡眠の分断化がみられた。ほとんどが無呼吸・低呼吸に伴う覚醒反応だった。深睡眠(st.3+4)16%、浅睡眠(st.1)15%だった。また、REM潜時が長く、st.REMは20%だった。
*睡眠呼吸障害;AHIは55.4/h(AI 35.3/h、HI 20.1/h)と重症のOSASで、最低SpO2 69.5%と呼吸障害による酸素飽和度の低下が著しかった。
- 14) セファログラム所見:表2、図1
下顎骨は大きく、後退もみられない。気道の大きさを示すLower Pharynxが20mmと広がった。

症例をそのままコピーペーストした場合は試験不合格の事由にあたります。

15) 治療方法・治療経過

2001/1/17: 初診 X-ray(Cephalo,Pantomo,Dental,CT)、模型、写真(プロファイル、口腔内)など資料採得、問診表、Epworth 眠気尺度などの記入

1/24: コンサルテーション (セファロ分析等の結果を説明)

2/4: 口腔内装置作成のための印象採得

2/11: いびき音テストにより構成咬合採得し、その位置で上下のスプリントを仮着固定した。

2/25: 口腔内装置が朝まで口腔内にあり、顎関節や歯牙に特別な痛みがないことを確認し、口腔内装置の効果を確認するためにポータブルモニターを貸し出した。

3/2: ポータブルモニターにて口腔内装置の効果を確認したので、上下のスプリントを固定して紹介医に PSG の依頼をした。

3/14: 表 1、図 3 のように PSG (with OA)にて OSAS 改善(AHI55.4 12.7)。日中傾眠も軽減し ESS も 5 点に減少した。

3/23: 毎日装置を使用しているが問題はない。転勤のため睡眠医療を行っている施設に紹介。

16) 口腔内装置装着による PSG とセファログラムの比較:

PSGでは、表 1、図 3 のように、OA 装着により無呼吸の改善がみられた。AHI は 55.4 12.7 /h と改善し、Arousal Index も 48.2 10.2 /h と改善した。

セファログラムでは、表 2、図 1 のように、OA 装着により、舌根部気道の幅 (Lower Pharynx) は、20 27 mm と気道が開大した。

上記の症例に関する診療あるいは検査および報告書作成を指導したことを確認します。

西暦 年 月 日

学会認定医、学会認定歯科医、学会認定検査技師

(学会認定証の番号:)

所属診療科の長(該当する事項を 印で囲って下さい)

医療機関と診療科名および職名

氏名

印

審査員のコメント

審査結果: 合格、保留、不合格

担当審査員の氏名

症例をそのままコピーペーストした場合は試験不合格の事由にあたります。

【様式4の4】 症例番号

(図・表は下の枠内に貼付け、各図・表に番号、タイトル、説明文をつけること)

表1 初診時PSG所見

項目		初診時PSG診断	口腔内装置装着によるPSG診断
睡眠 の 状 態	総睡眠時間(TST)	296 min	287 min
	睡眠段階W	16 min (5 %)	9 min (3 %)
	睡眠段階1	44 min (15 %)	63 min (22 %)
	睡眠段階2	130 min (44 %)	103 min (36 %)
	睡眠段階3	38 min (13 %)	17 min (6 %)
	睡眠段階4	9 min (3 %)	29 min (10 %)
	睡眠段階REM	59 min (20 %)	66 min (23 %)
	睡眠潜時	4 min	2 min
	REM潜時	195 min	49 min
	総覚醒指数(Arousal Index)	48.2 / h	10.2 / h
	無呼吸・低呼吸に伴う覚醒指数	46.2 / h	8.3 / h
	睡眠効率(TST/TIB) × 100	92 %	90 %
	呼 吸 の 状 態	無呼吸指数	35.3 / h
低呼吸指数		20.1 / h	7.2 / h
無呼吸低呼吸指数		55.4 / h	12.7 / h
動脈血酸素飽和度の平均値		92.1 %	81.5%
動脈血酸素飽和度の最低値		84.5 %	95.5%
動脈血酸素飽和度の低下指数		51.2 %	9.2 %
そ の 他	不整脈の回数	なし	なし
	PLM指数	0 / h	0 / h

症例をそのままコピーペーストした場合は試験不合格の事由にあたります。

【様式4の4】(図・表は下の枠内に貼付け、各図・表に番号、タイトル、説明文をつけること)

表2 初診時・口腔内装着時のセファログラム分析結果

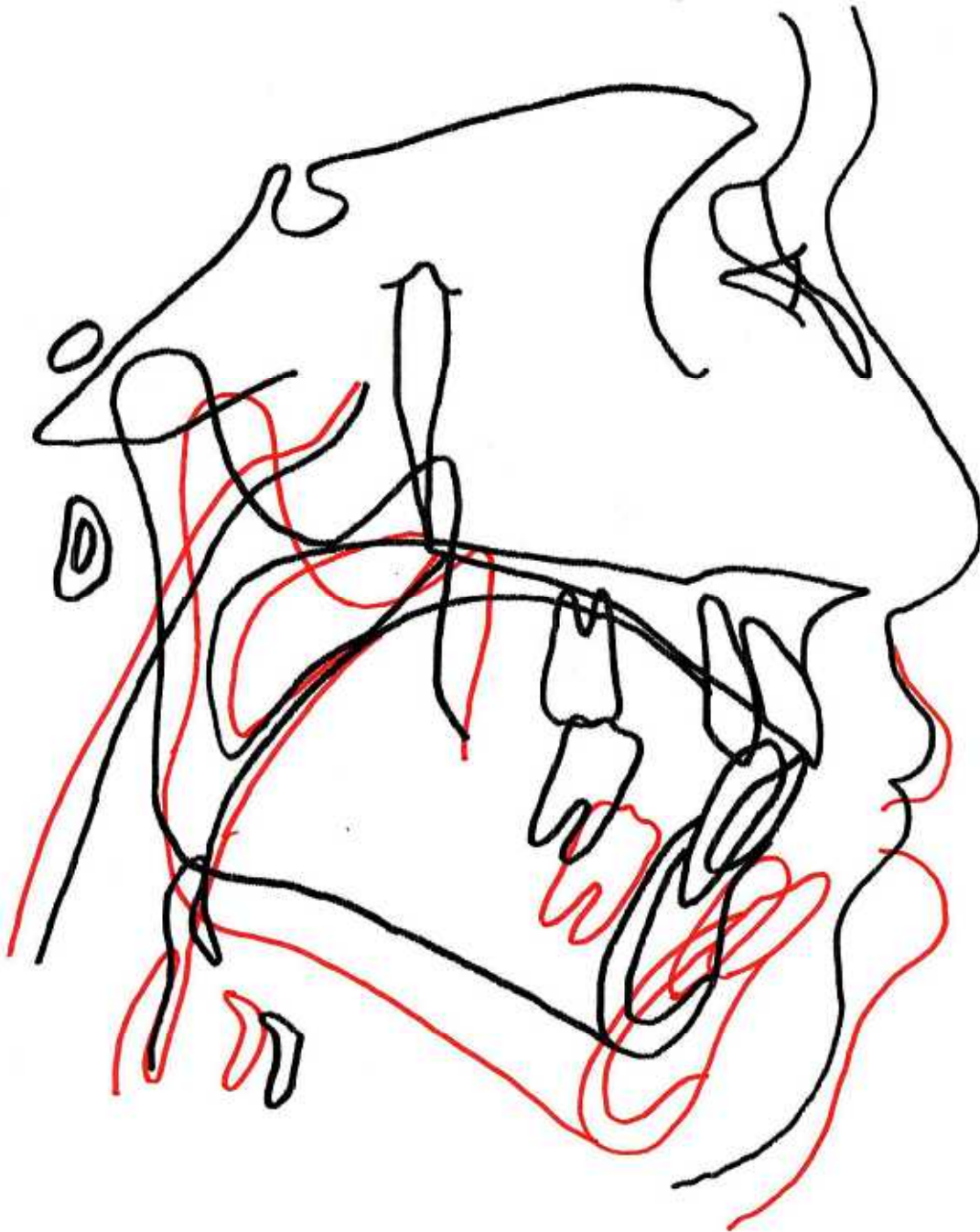
項目		初診時	口腔内装置装着時
骨格分析	SNA (81 °)	92 °	92 °
	SNB (78 °)	83 °	84 °
	ANB (3 °)	9 °	8 °
	FX (86 °)	90 °	80 °
	FD (86 °)	90 °	91 °
	MP (30 °)	18 °	22 °
	LFH (49 °)	40 °	44 °
	MA (25 °)	42 °	42 °
	TFH (64 °)	53 °	57 °
	McNamara-A (1mm)	12mm	12mm
	McNamara-Pog (-6mm)	3mm	2mm
MP-H (10mm)	17mm	8mm	
気道分析	Upper-pharynx (20mm)	15mm	13mm
	Lower-pharynx (12mm)	20mm	27mm
	PNS-P (35mm)	46mm	42mm

症例をそのままコピーペーストした場合は試験不合格の事由にあたります。

【様式4の4】(図・表は下の枠内に貼付け、各図・表に番号、タイトル、説明文をつけること)

図1 セファログラムのトレース像

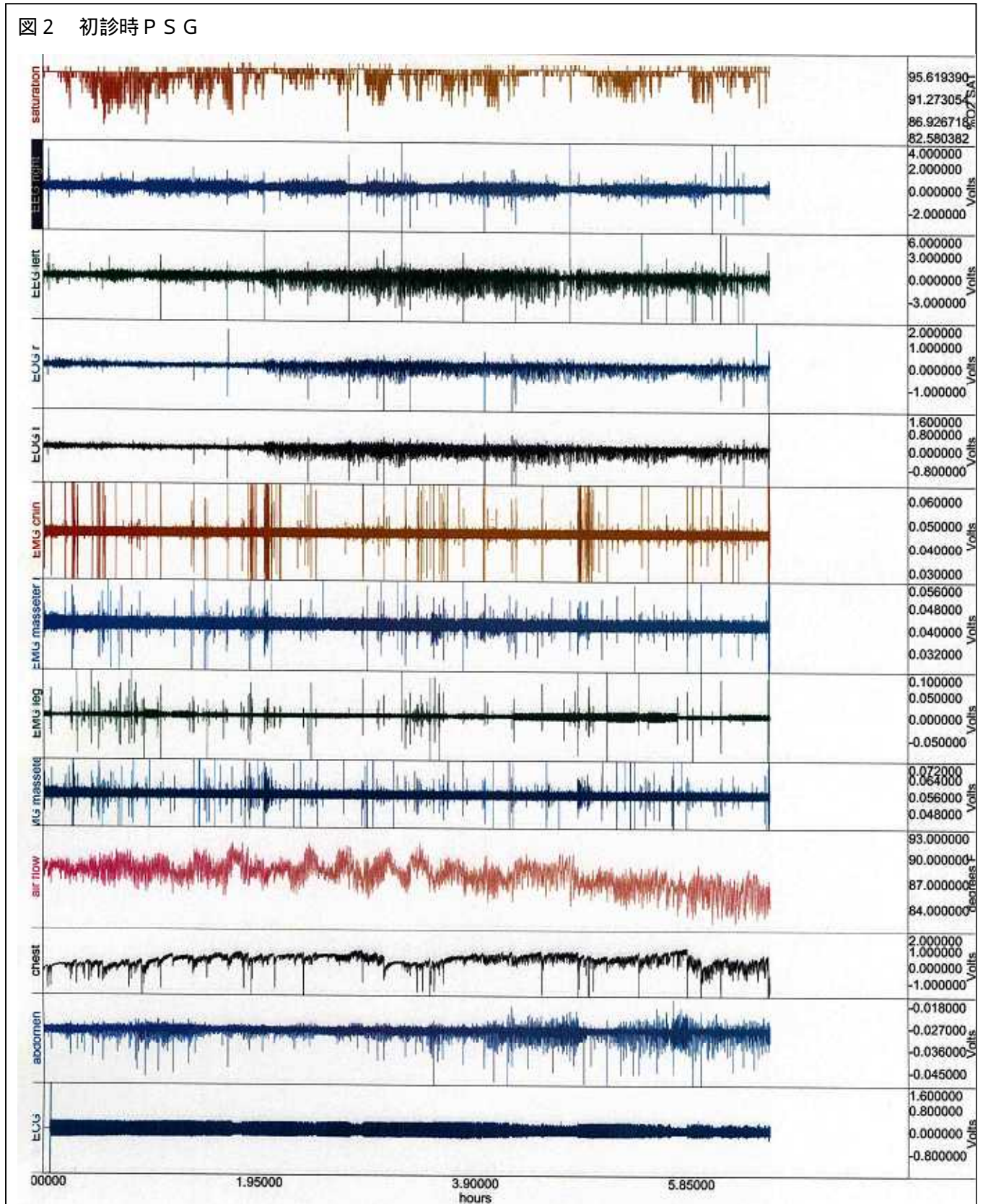
初診時(黒線)と口腔内装置装着時(赤線)の重ね合わせ



症例をそのままコピーペーストした場合は試験不合格の事由にあたります。

【様式4の4】(図・表は下の枠内に貼付け、各図・表に番号、タイトル、説明文をつけること)

図2 初診時PSG



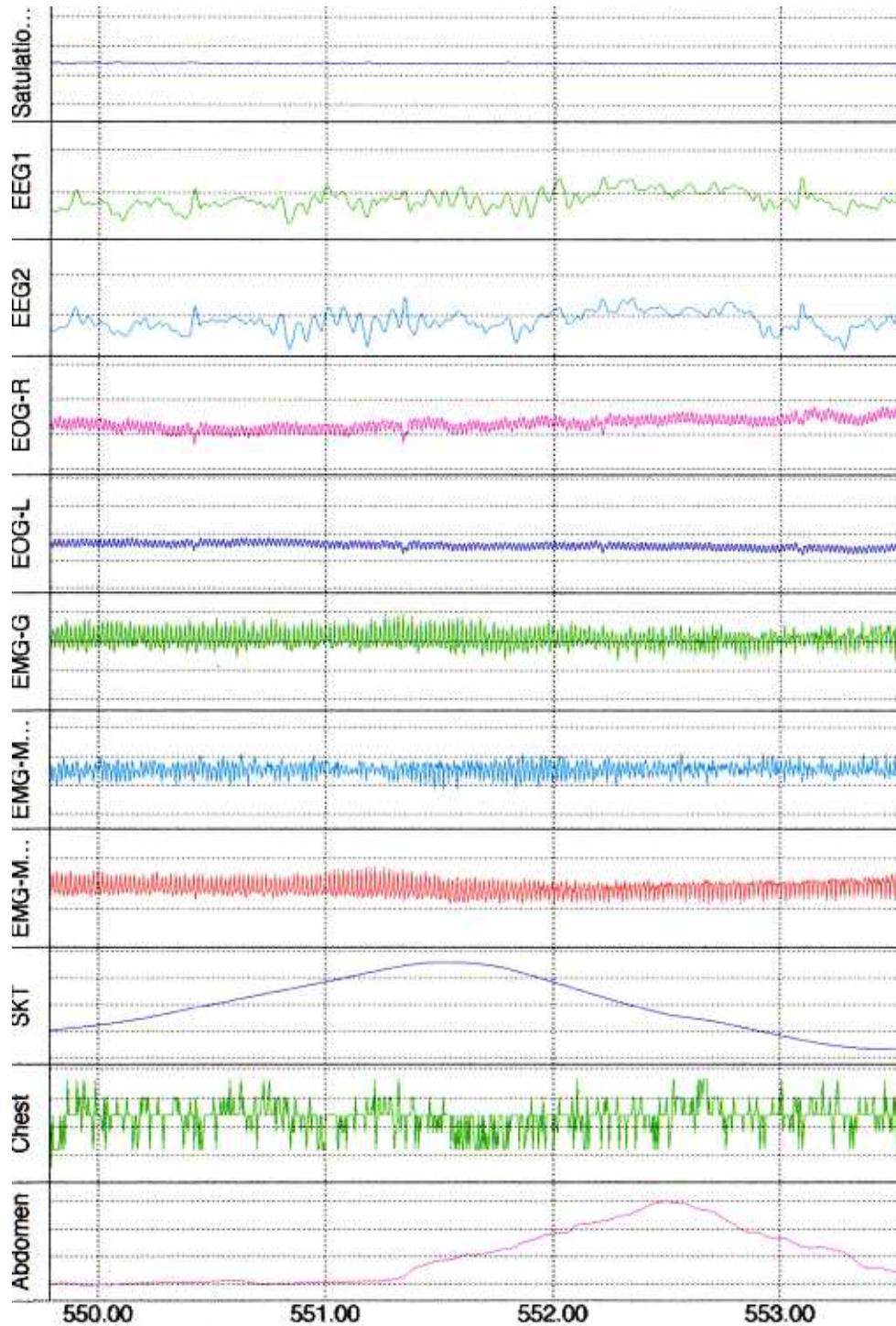
* 図中略語の意味

EEG1・EEG2：脳波 EOG-R・EOG-L：眼電図 EMG-G：顎下部筋電図 EMG-MR：咬筋筋電図
 SaO2：動脈血酸素飽和度 SKT：鼻気流 Chest：胸部呼吸努力 Abdomen：腹部呼吸努力

症例をそのままコピーペーストした場合は試験不合格の事由にあたります。

【様式4の4】(図・表は下の枠内に貼付け、各図・表に番号、タイトル、説明文をつけること)

図3 口腔内装置装着時のPSG



* 図中略語の意味

SaO₂ : 動脈血酸素飽和度 EEG1・EEG2 : 脳波 EOG-R・EOG-L : 眼電図 EMG-G : 顎下部筋電図
EMG-M : 咬筋筋電図 SKT : 鼻気流 Chest : 胸部呼吸努力 Abdomen : 腹部呼吸努力